

① 題：「最初のしるし」(24 分)

説教者 : 山地 正
聖書朗読 : ヨハネによる福音書 2 : 6,7
瞑想の言葉 : ヨハネによる福音書 19 : 25,26

「イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、『婦人よ、御覧なさい。あなたの子です』と言われた。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 112 番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 294 番

② 題：「大胆な臆病者」(27 分)

説教者 : 青木泰樹
聖書朗読 : イザヤ書 40 : 29~31 節
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『人類のあけぼの』下巻 89 頁 (文庫版)

「神は、イスラエルのために、神の力をくり返しあらわされて、彼らが神を信じ、どんな危機においても信頼をいだいて神の助けを求めるように導こうとなさった。神は、今日も同様に、神の民と力を合わせてお働きになり、弱い器によって偉大なことをなしとげられようとしておられる。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 108 番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 327 番

③ 題：「モーセになろう」(38 分)

説教者 : 伊藤裕史
聖書朗読 : 出エジプト記 4 : 11,12
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『人類のあけぼの』22 章

「人間は、神がお与えになる責任を受け入れ、全力を尽くして正しく遂行しようとするときに、力と能力とを受け取るものである。たとえ、その地位がどんなに低く、その能力にかぎりがあったとしても、神の力に信頼し、その働きを忠実に果たそうとするものは、真に偉大なものになるのである。……人間が自分の弱さを認めるという事実は、少なくとも彼が、与えられた仕事の大きさを認識し、神を彼の力、助言者とするということの証拠である。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 109 番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 329 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>) に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。